

TouchMix Series



Windows USB Driver and DAW Setup Installation

Instruction

クイックスタートガイド

コンピューターと **TouchMix-30 Pro** をセットアップ(**Windows** ドライバーのインストール、**Mac** の設定、**iTunes** の再生、および **DAW** のセットアップ)

QSC TouchMix-30 Pro デジタルミキサーを使用してコンピューターをセットアップし、**DAW** として利用するための手順について説明します。

コンピューターが **Windows 10** または **Windows 11** のオペレーティングシステムで動作している場合、ミキサーとコンピューターを一緒に使用する前に、**DAW** のセットアップを含むすべての操作に必要な **Windows** ドライバーをインストールする必要があります。コンピューターが **Mac** の場合は、そのまま **DAW** のセットアップを進めることができます。

DAW を使用しないコンピューターからのオーディオ再生について

Windows からのステレオ・オーディオは、ミキサーのステレオチャンネル「**2-Trk PB**」(オーディオチャンネル **31** と **32**) に入力されます。

TouchMix-30 Pro の設定

コンピューターからのオーディオを受信するために、ミキサーの「**Rec/Play**」ボタンを押し、「**Record Mode**」をタッチして「**Multitrack DAW**」を選択します。ミキサーの「**Record Mode**」設定に関係なく、入力チャンネル **1** から **30** および **2-Trk Record** 出力(チャンネル **31** と **32**)からのオーディオは常にコンピューターに送られます。

Windows ドライバーのインストール

TouchMix-30 Pro Windows ドライバーは、TouchMix-30 Pro ミキサーと Windows 10 または Windows 11 オペレーティングシステムを実行しているコンピューターと一緒に動作するために必要なドライバーです。このプログラムは、ミキサーとコンピューター間で最大 32×32 チャンネルのデジタルオーディオをサポートします。

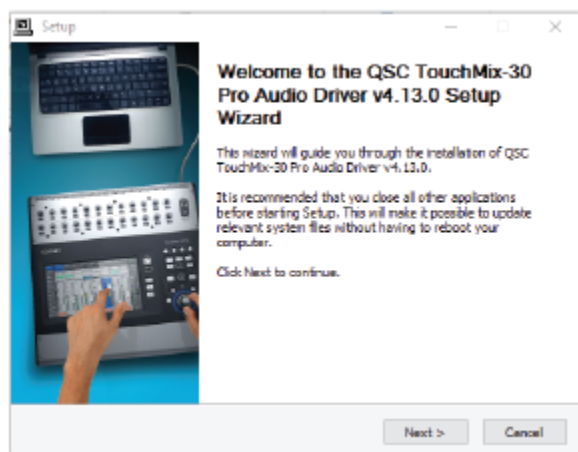


図 1

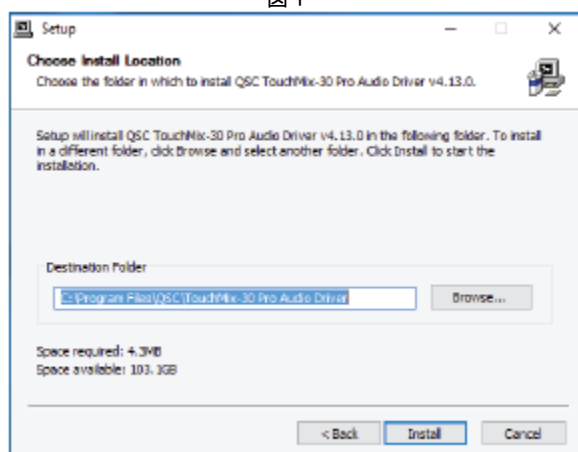


図 2

インストール手順

1. 圧縮フォルダーを新しい場所に解凍します。
2. 解凍された新しいフォルダーを開き、「Setup」を実行します。
3. Windows のオペレーティングシステムが「このプログラムがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」と尋ねますので、「はい」をクリックします。
4. 「Setup Welcome」ウィンドウ（図 1）が表示されます。「Next >」をクリックして続行します。
5. ドライバーフォルダーのデフォルトの場所を使用するか、別の場所を指定します（図 2）。「Install」をクリックします。



図 3



図 4

6. インストーラーがファイルを指定した場所にコピーします。完了すると、ドライバーがコンピューターにインストールされたことを示すメッセージが表示されます（図 3）。「Finish」をクリックします。

接続

1. タイプ B の USB ケーブル（図 4）を使用して、ミキサーの USB DAW ポートとコンピューターの USB ポートを接続します。

Mac の設定

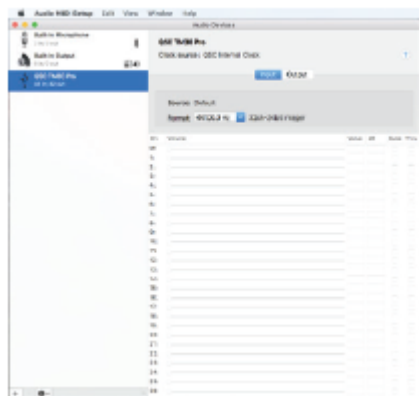


図 5

1. TouchMix-30 Pro を Mac の DAW に接続するには、まず Type B USB ケーブル（図 4）をミキサーの USB DAW ポートに接続します。次に、もう一方の端をコンピューターの USB コネクタに接続します。
2. TouchMix で、「Rec/Play」>「Recording Mode」を押し、「Multitrack DAW」を選択します。
3. Mac で「Audio MIDI 設定」ユーティリティを開きます（Finder > アプリケーション > ユーティリティ > Audio MIDI 設定）。もしオーディオウィンドウが表示されていない場合は、ウィンドウタブに移動し、「オーディオデバイスを表示」を選択します。
4. QSC TM30 Pro がオーディオデバイス・ウィンドウに表示されます（図 5）。ミキサーを選択し、コンピューターのサンプルレートがミキサーのサンプルレートと一致していることを確認します。TouchMix のサンプルレートは、Rec/Play

画面から設定できます。

Apple iTunes オーディオ再生の設定

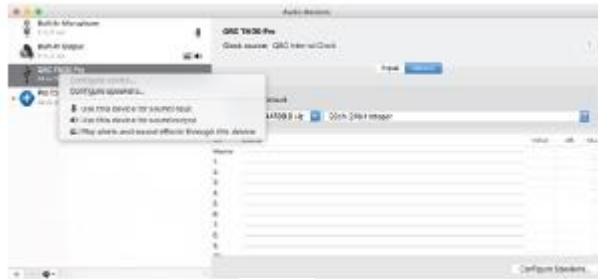


図 6



図 7

1. オーディオ出力デバイスの一覧で、Audio MIDI 設定リストから **QSC TM30 Pro** デバイスを選択します。次に、右クリックして「このデバイスをサウンド出力に使用」を選択します(図 6 参照)。
2. 「出力」をクリックし、右下の「スピーカーの構成…」をクリックします。
3. 「ステレオ」が選択されていることを確認します。「左前」をクリックして **Q 31** を選択します。「右前」をクリックして **Q 32** を選択します(図 7)。これにより、iTunes の音楽がミキサーの **2-Trk PB** チャンネルにルーティングされます。他のチャンネルペアを使用することも可能ですが、その場合ミキサーを DAW モードにし、入力ソースとして「トラック」を選択する必要があります。

4. 「完了」をクリックします。

TouchMix-30 Pro を DAW 上で設定する方法

DAW ソフトウェアの設定

Windows 用のドライバーがインストールされ、コンピューターがミキサーに接続されたら、DAW プログラムの設定を行います。各 DAW プログラムには独自の設定手順があり、通常は次の 3〜4 つのステップで構成されています。

- TouchMix-30 Pro を DAW のオーディオソースとして指定する。
- DAW プログラムで使用するミキサーの入力および出力の数を設定する。
- 録音の際に、ミキサーの入力を DAW トラックに割り当てる。
- ミックスダウンの際に、DAW トラックをミキサーの入力に割り当てる。

このクイックスタートガイドの次のページでは、4 つの人気 DAW プログラム（Apple Logic Pro X、Steinberg Cubase、Pro Tools 12.5、および Apple GarageBand 10）の手順を紹介しています。詳細については、各 DAW ソフトウェアのユーザードキュメントを参照してください。DAW がミキサーを認識しない場合は、ミキサーの電源を一度切って再度入れるか、コンピューターを再起動する必要があるかもしれません。

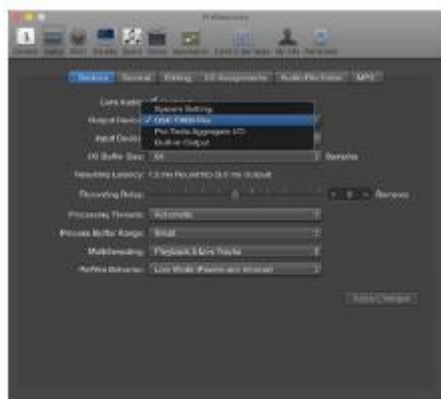


図 8



図 9

Apple Logic Pro X macOS

1. Logic Pro X を開きます。
2. TouchMix-30 Pro をオーディオデバイスとして選択するために、Preferences（環境設定）> Audio（オーディオ）に進みます。Devices（デバイス）をクリックします。Output Devices（出力デバイス）で、QSC TM30 Pro を選択します（図 4）。Input Devices（入力デバイス）でも同様に設定します（図 4）。
3. Preferences（環境設定）を閉じます。
4. TouchMix-30 Pro の入力を Logic Pro X に割り当てるために、File（ファイル）> New（新規）に進みます。
5. トラックタイプとして Audio（オーディオ）を選択します。
6. トラック数に 32 を入力します。
7. これらのデフォルト設定では、ミキサーの入力が DAW のバスと 1 対 1 でマッピングされます。より高度な設定を行うには、Details（詳細）をクリックします（図 5）。

提供されるオプションには、異なる入力および出力チャンネルへのマッピングの変更、入力および出力のチャンネル番号の昇順設定、入力用ライブラリの開閉、モニタリング設定の調整などがあります。

8. Create（作成）をクリックします。

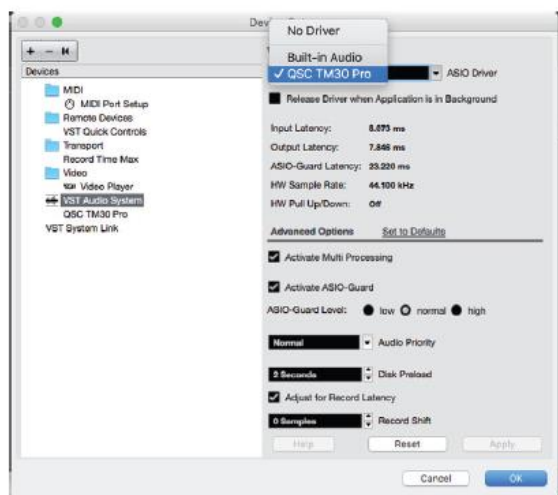


図 11

Steinberg Cubase macOS, Windows

1. Cubase を開きます。
2. TouchMix-30 Pro をオーディオデバイスとして選択するために、Devices（デバイス）> Device Setup …（デバイス設定）> VST Audio System（VST オーディオシステム）に進みます。ASIO Driver（ASIO ドライバー）で、QSC TM30 Pro を選択します（図 10）。
3. OK をクリックします。
4. TouchMix-30 Pro の入力を Cubase のバスに割り当てるために、Devices（デバイス）> VST Connections（VST 接続）> Inputs（入力）に進みます。
5. 既存の接続がある場合は、選択して削除します。
6. Add Bus（バスを追加）をクリックします。Add Input Bus ウィンドウが開きます（図 11）。
7. Count（数）で、バスに割り当てるミキサーチャンネルの数を選択します。例えば、すべてを追加したい場合は、30 を選択します。※Cubase のエントリーレベル・バージョンでは、最大 16 バスのみサポートされています。
8. Configuration（構成）で、Mono（モノ）を選択します。
9. Add Bus（バスを追加）をクリックします。これでミキサーの入力が DAW のバスに 1 対 1 でマッピングされます（図 12）。

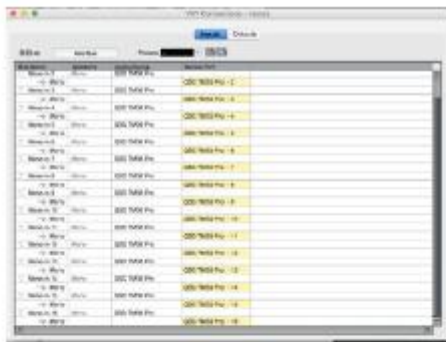


図 12



図 13

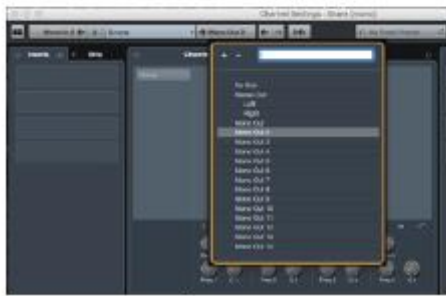


図 14

10. Cubase の出力を TouchMix-30 Pro の入力に割り当てるには、Devices (デバイス) > VST Connections (VST 接続) > Outputs (出力) に進みます。
11. Cubase の入力を割り当てたときと同様に、既存の接続を選択して削除します。Add Bus (バスを追加) をクリックして、チャンネル数と構成を設定します。設定が完了したら、Add Bus (バスを追加) をクリックします。
12. ミキサーの入力を DAW トラックに接続するには、まずトラックを選択します。Inspector ウィンドウまたは Track Controls (トラックコントロール) で、e (編集チャンネル設定) のシンボルを探します。
13. e をクリックします。Channel Settings ウィンドウが開きます。
14. 割り当てたい DAW トラックで、トラック番号と名前の左側にあるボックスをクリックします。
15. このトラックに割り当てたいバスを選択します。例えば、図 13 を参照してください。Track 2 が表示されています。Mono In 2 を選択すると、ミキサーチャンネル 2 が Track 2 に割り当てられます。したがって、信号の流れは、TouchMix-30 Pro の入力チャンネル 2 から Cubase の Mono In 2、そして Cubase の Track 2 へと流れます。他のトラックについても同様に繰り返します。
16. DAW バスを TouchMix-30 Pro の入力チャンネルに接続するには、まずトラックを選択します。前のステップと同様に、Inspector ウィンドウまたは Track Controls で e (編集チャンネル設定) のシンボルを探します。
17. e をクリックします。Channel Settings ウィンドウが開きます。
18. 割り当てたい DAW トラックで、トラック番号と名前の右側にあるボックスを

クリックします。

19. このトラックに出力するバスを選択します。例えば、図 14 を参照してください。
Track 2 が表示されています。**Mono Out 2** を選択すると、ミキサーチャンネル **2** が **Track 2** に割り当てられます。その結果、信号の流れは、**Cubase** の **Track 2** から **Mono Out 2**、そして **TouchMix-30 Pro** の入力チャンネル **2** へと流れます。他のトラックについても同様に繰り返します。

Pro Tools 12.5 macOS, Windows

注意: Pro Tools はセットアップアプリの Audio MIDI 設定ウィンドウにおいて、Pro Tools Aggregate I/O デバイスを作成する必要があります。この手順については後で説明します。

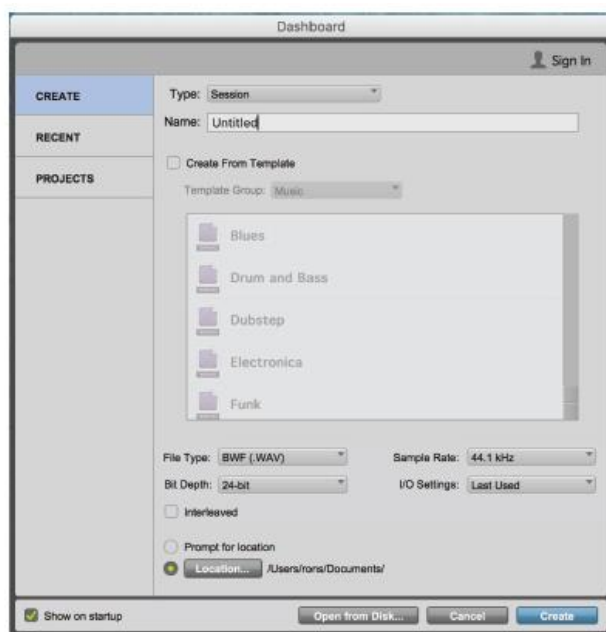


図 15

1. Pro Tools 12.5 を開きます。新しいプロジェクトを作成するか、既存のプロジェクトを開くかを求められます (図 15)。どちらかの方法を選択してください。
2. Pro Tools Aggregate I/O を設定するには、[セットアップ] > [ハードウェア]に進みます。ハードウェア設定ウィンドウ (図 16) で[セットアップアプリを起動]をクリックします。
3. セットアップ MIDI オーディオデバイスウィンドウが開きます (図 17)。Pro Tools Aggregate I/O を選択し、QSC TM30 Pro を選択します。サンプルレートをミキサーのサンプルレートに合わせて設定します (TouchMix のサンプルレートはその録音/再生画面で設定されます)。
4. TouchMix-30 Pro の I/O ルーティングを設定するには、Pro Tools の[セットアップ] > [I/O 設定]に進みます。

5. I/O 設定ウィンドウには入力および出力の割り当てマトリックスが表示されます (図 18)。必要に応じて割り当てを行い、[OK]をクリックします。
6. TouchMix-30 Pro の入力をトラックに割り当てるには、[トラック]>[新規]に進み、[作成]をクリックします。
7. 新規トラックウィンドウが開きます (図 19)。作成で追加するトラックの数を入力します (例: 32)。[作成]をクリックすると、32 のモノラルオーディオトラックが Pro Tools に追加されます。



図 16

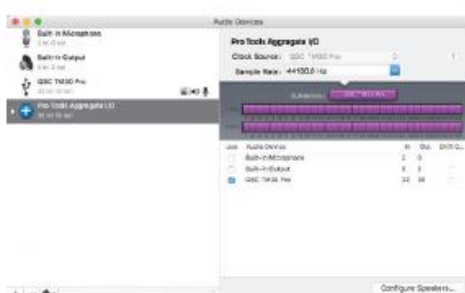


図 17

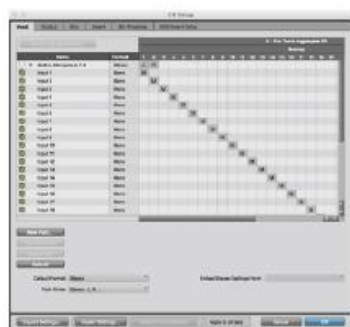


図 18



図 19



図 20



図 21



図 22

Apple GarageBand 10 macOS

1. GarageBand を開き、新しいプロジェクトを作成します。プロジェクトの種類を選択するよう求められたら（図 20）、[空のプロジェクト]を選択し、[選択]をクリックします。
2. 最初のトラックを追加するには、入力を選択します（図 21）。[My instrument is connected with:]（楽器は接続されています）で「QSC TM30 Pro」を選択し、[I hear sound from:]（音を聞く）でも「QSC TM30 Pro」を選択します。[作成]をクリックします。

3. 残りのすべての入力とトラックについても同様の手順を繰り返します。
4. すべてのトラックで同時に録音できるようにするためには、各トラックに録音ボタンと入力モニタリングボタンを表示させる必要があります。これを行うには、[トラック] > [トラックヘッダ]（図 22）に移動し、[録音可能ボタンを表示]を選択します。次に、[トラック] > [トラックヘッダ]に移動し、[入力モニタリングボタンを表示]を選択します。

なお、GarageBand でミックスをモニタリングする際、ミックスは TouchMix-30 Pro の入力 1 および 2 にのみ送られます。これは再ルーティングできません。

また、入力をモニタリングすると、GarageBand はオーディオを入力 1 および 2 にのみ送信します。TouchMix で入力 1 および 2 を聞くには、[Rec/Play]ボタンを押し、入力 1 および 2 のトラックボタンを選択します。トラックボタンが選択されると、背景が緑色に変わります。

QSC